



YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2018年10月号

小学生でも目標が明確になると頑張るものなのです

糸島学習YESで導入している受験コンパス(学習管理型予備校のシステム)の勉強会で講師の方が、進路指導にとても役に立つ雑誌があると推薦なさった本を購入しました。昨年の9月に出版された週刊ダイヤモンドという情報誌です。

1982年から2017年までの偏差値や就職の実績を集計し大学序列を出しています。偏差値での序列というのはよく目にするのですが、人気企業240社に過去20年に累計何名入社就職したのか? という集計結果はとても興味深いものでした。

ちなみに1位が早稲田大学の79839名、2位が慶応大学で67356名、3位が明治大学の36573名でした。東京大学は5位で33545名、九州では九州大学が20位で15793名、福岡大学が41位で5619名、西南学院大学は44位で4819名となっております。

1位2位の早稲田、慶応が3位以下を大きく引き離しているのが印象的な結果となっております。やはり早稲田、慶応の人気の高いのも頷けます。

実際には、下の写真のように調査した240社毎にどの大学から何名採用したというデータも掲載されているのです。字が小さくて見えにくいですが、一番上の赤丸のところが東大で、下の赤丸の二つの上が早稲田、下が慶応です。

各企業の採用人数が多い上位3校のところを赤で塗ってあります。早稲田、慶応のところをほとんど赤で塗られているので早稲田、慶応の凄さが視覚に訴えられるようになっていきます。

先日、小学5年生の男の子が「僕、専門学校に行つてJR九州に就職したい」と話しかけてきてくれたので、私が「それならいい本があるよ」とこの本を持ち出して一緒にJR九州にどの大学から就職しているのか一緒に調べてみました。

調べてみたら1位福大1599名、2位九大109名、3位西南大47名でした。するとその男の子は、「西鉄は?」と言い出し西鉄も調べていました。西

鉄は1位九大128名、2位西南大68名、3位福大42名となっております。すると「やっぱり九大って凄いわね」と言い出し、最後には「九大に行きたい」と言っていました。こんな本を見ると小学生の意識も変わるのだなあと思ひこの本の良さを実感していたのですが、その後、速読誌の日報の検印をしていたら、その男の子の日報に、先生が「やる気に満ち溢れていた。頑張っている。」と書いていました。それを見て、子供はちょっとしたことでも本当に変わるのだなあ、とても嬉しくなりました。

この本を紹介いただいた講師の塾長さんも生徒がフライトアテンダントになりたいということで、日本航空を調べたら慶応大学が一番多かったそう、慶応を目指したそうです。しかも、その後、ある雑誌の特集で日本航空に入るための準備なるものがあったそう、それをその塾長さんが生徒にプレゼントしたところ常にカバンの中にその雑誌を入れていたそうです。改めて情報の大切さを痛感した次第です。塾にいろいろな情報を集めていますので、なんでもご相談くださいなね!

やる気相談室

感謝力

ありがとうの気持ちを伝えることも大切です。

以前のYEMS通信で、も

ののり方考え方を変える
と人生が良くなるという
ことを、小林正観さんの話
を紹介し書かせていただ
きました。「コップに水が
半分しか入っていない」と
いう見方もあれば、「コッ
プに半分も水が入ってい
ない」という見方もあります。

たことに大いに感動した」と話していまし
た。

見方によっても、世の中は感謝出来るこ
とだらけなのですが、得てして感謝出来るこ
とよりも足りないことや不満にアクセスし
てしまいがち、いつも反省させられているのが
私をはじめ普通の人の人ではないでしょうか？

になり、そんな人の周りには素晴らしい仲
間が集まってきて当然なのです。
幸いにもここ数年、いろいろな出会いに
恵まれ、素晴らしい経営をしていらっしゃる方と
話をする機会が増えてきました。そ
こで、自分との違いを最も感じるのがこの
感謝力なのです。

私も若いころに同じような話を聞いたこ
とがあるのかもしれませんが、当時の私は
とても未熟で、全く感謝には結びつけるこ
とが出来ませんでした。

「とらいう見方もあります。やはり」「水が
半分残して入れてあげたがとら」という見方
があります。とらう話でした。

一流の方ほど感謝の言葉を口になさって
います。私もその爪の垢を少しでも分けて
欲しいと、見様見真似で頑張っていますが、
まだまだ果てしない差があるように感じて
います。

松下幸之助氏は何十年も素直になりたい
素直になりたいと思いつけていたそうです
が、素直になるといことはある意味感謝
が出来人間になるということなのかな
あと最近では思うようになってきました。

毎日毎日、多くの感謝を実感できている
ならぬ、もっと毎日が楽しく充実したもの
か？

そのために毎日やっていることが朝礼で
す。毎日、感謝できることを考えて発表し
て、その情報をシェアしています。最初は
なかなか出てこなかった感謝の言葉が、最
近では少しずつですが私をはじめ従業員な
んかからも出てくるようになってきました。

今後も感謝の朝礼を継続していき、感
謝力を身に蓄けていきたいと思います。

菊武由美子

神様のプレゼント

書籍紹介

この本は私がお手伝いをさせていただいている NPO 法人ヘルスコーチジャパンさんのコーチングセミナーの受講生としてお見えになり、今ではスタッフとして一緒に活動されている菊武さんが書かれた本です。菊武さんの体験を基に、「口唇口蓋裂」という障害を持つ主人公が傷つきながらも強く、そして優しい人間に成長していく出来事を丁寧に描いた作品です。「口唇口蓋裂」とは妊娠初期に形成される唇、上あご、口の中がうまくくっつかず、裂けたままの状態で生まれる先天性の障害です。小さいころからその見た目や発音をからかわれる経験は、本人やご両親にとっては地獄のような苦しみだったそうです。そのような経験をこつこつと努力して克服してきた菊武さんの体験は、「口唇口蓋裂」の方だけでなく他の障害、さらには障害や病気に限らず人間関係、仕事のトラブルなど、何かにつまずいて、一時的に進めなくなっている方たちにも、そこから一歩前に進む勇気を持ってもらえる本です。コーチングのセミナーでは人前で話したりする機会がとて多く菊武さんにとってはとてもハードルの高いセミナーだったにも関わらず、地道にコツコツ努力される姿がとても印象的でした。そんな菊武さんだからこそ小学校からの夢だった出版という夢を叶えられたのだと私も勇気づけられました。挿絵もかわいくとても読みやすい本です。

